



市長日記

## 地域内輸送の先駆け

宇波地区では平成28年から地域住民が主体となり、地域内の輸送手段として市が貸与した車両で輸送活動を実施しています。

11月6日、宇波交流センターで、新たな車両（愛称「ふくろう号」）貸与の式典に出席し、運用主体である「うなみの里創生プロジェクト」に車両を引き渡しました。地域内輸送のパイオニアとして、今後も期待しています。



▲田中市長（右）からレプリカキーを受け取る代表の遠藤春一さん（左）。



紹介します  
出来事を  
まちな話題や

# たうんとぴっくす

TOWN TOPICS

今月の1枚



子どもたちに行政や議会への理解を深めてもらおうと「安来子ども議会」を開催しました。一般社団法人安来青年会議所が昨年度に引き続き企画。安来高校の生徒10人が子ども議員となり、若者らしい視点でまちづくりについて質問をしました。10月30日：安来庁舎議場



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



▲宝くじの助成金で整備したプロジェクターやスクリーンなどを使用し、研修会を行いました。

## オンラインで防火研修



家庭での防火・防災の知識を身につけてもらおうと、11月12日に「安来市少年女性防火委員会の防火・防災研修会」を開催しました。

研修会は会場を分散して実施。消防本部職員が講師となり、同本部と受講者が集まる安来中央交流センターをオンラインでつないで行いました。

参加した安来市女性防火クラブ会員や安来市消防団女性分団員ら13人は、消火器をすぐ使える場所に備えることや住宅用火災警報器を設置することなど、事前準備の大切さを学んでいました。

しまね東部森林組合（以下、組合）の合併20周年を記念して、次世代に残るもので市の林業振興に資そうと、11月3日に記念植樹が行われました。

組合の役職員や田中市長らが参加した記念植林は、広瀬町東比田坊床地内の市有林で開催。組合の新たな一歩への期待を込め、0.5haに1,000本のスギ・ヒノキを植えました。

植えられた木々は計画的に管理され、二酸化炭素の吸収量が落ちてくる約40年後ごろから伐採と再植林が行われます。



▲植林地での記念撮影。元々笹が生い茂っていた場所で、植林のために整備されました。

## 未来のための環境保全



## 秋の魅力をお届け

▲やすぎの農産物重さ当て競争は容器いっぱい  
の農産物が賞品。楽しくも真剣に計量中です。

安来市の農林業の振興と地産地消の推進を図るため、第18回安来市農林業祭が11月20日に安来市役所伯太庁舎で開催されました。イベントには33の団体が出店。安来市の豊かな自然で育った農林水産物などの販売や無料配布、展示を行いました。

豆腐店の角久と洋菓子店のモントローネ、情報科学高校が共同考案し、島根銀行の支援で開発された「なんちゃって豆富」も10品限定で販売。購入した千原唯花さんは「つるつるなめらかな食感でふわっと溶けておいしかったです」と話していました。

月が地球の影に完全に隠れる「皆既月食」を観察するイベントを11月8日、安来市役所防災広場で開催。子どもたちに地域の自然に親しんでもらおうと、年間を通じて取り組む「やすぎ子ども探検隊事業」の体験活動の一環として行いました。

この日は月が天王星を隠す天王星食も観測。2つの食が同時に見られるのはとても貴重なことで、442年ぶりの天体ショーとなりました。

子どもたちは観察ノートに月が欠けていく様子をスケッチしたり、色の特徴をメモしたりしていました。



## 皆既月食×天王星食

▲市内の小学生とその家族約100人が参加。3基の天体望遠鏡に分かれて、観察していました。

赤屋小学校50周年記念事業が11月12日～13日に開催されました。元赤屋小学校長でお笑い芸人「かまいたち」山内健司さんの父親である山内恭さんの記念講演（12日）や、安芸高田市より招いた高猿神楽団による「紅葉狩」など4演目・3時間を超える神楽公演（13日）に、会場の人々は拍手喝采。赤屋小学校5年生の松岡秀朔さんは「神楽は大きな動きで大迫力でした」と話していました。

記念事業の実行委員会では、DVD制作や、記念誌の発行に向けた活動が続いています。



▲神楽公演の演目「恵比寿」。釣りの動作に見立て捲かれたお菓子に子どもたちは大喜び。

## 地域一体の50周年記念



▲会員らは、草刈り機や剪定ばさみを使い、半日程で、整備されたきれいな姿に戻しました。

## シルバー会員、園庭清掃

安来市シルバー人材センターの会員19人が10月24日、能義こども園と旧山佐児童館の2園のボランティア清掃活動を実施しました。

この活動は日ごろセンターの活動を支えてもらっている地域への恩返しのため、毎年同センターが企画。本年は休園中の能義こども園と、閉館した旧山佐児童館の除草作業や植栽の剪定を行いました。

同センターの梶岡孝則主任は「地域の人に喜んでもらってよかった。引き続きこの活動を継続していきたい」と話していました。